

PR

人と地域と行政をつなぐ 週刊マガジン まち・ひとつながる

私も参加しています!

参加、応援、準備... 「役割」を担うことで地域の結束が深まる



弓削校区体育協会 会長 穴井憲義さん[写真右] 弓削校区青少年健全育成協議会 会長 寺本一誠さん

弓削校区のどんとや、地元の70〜80代の方がこの辺りが弓削村だった頃からあり、「た」と話すほど歴史ある行事。また、竹の提供(地元の竹林所有者、開催場所・残灰の埋め立て場所提供(弓削小学校)など、地域の方々がそれぞれの役割を担ってくれるのも、伝統を大切にしている校区だからです(寺本さん)。

弓削校区では、駅伝大会以外にも健康づくりを目的にした、さまざまなスポーツイベントに取り組んでいます。高齢化が進む中で、地域に住む方々が元気に過ごすには、世代を超えて運動で気持ちいい汗を流し、健康づくりに励むことが大切。駅伝大会は町内での応援も盛り上がり、地域の結束も強まります(穴井さん)。



各町内の代表選手が世代を超えて、たすきをつなぐ駅伝大会。中継所ではひときり大きな声援が!

「健康」をキーワードにした、まちづくりを進める弓削校区では、ミニバレーをはじめ、ソフトボール、グラウンドゴルフ、ウォークラリーなど、年間を通して校区で取り組むスポーツイベントや健康づくりイベントがめぐる押し。その数は、同校区の体育協会会長を務める穴井憲義さんが、「1月〜10月程度は何か開催しています」と話すほどです。駅伝大会は今回で17回目。さらに、同時に開催されている個人競技のロードレース大会は30回目、どちらも弓削校区を代表するイベント。一方のどんとやは、元々、近くの白川河川敷で行っていました(弓削小学校開校(1983年))



高さ10mを超えるやぐらに火が付くと、たちまち大きな炎が

その後行われたどんとやは、地元の竹林から切り出した竹を使ってやぐらが組み立てられ、参加者は燃え盛る炎に無病息災を祈りました。さらに、婦人会手作りのぜんざい

それぞれの校区が持つ良さをシェアし、龍田地域全体の活性化をお手伝い!



地域活動が活発な龍田地区の中でも、特に弓削校区はスポーツ活動が盛んです。また、年長者を敬い、子どもを大切にできる気風もあります。そうした、地域を思いやる気持ちを他の校区にも広めながら、龍田地域全体の活気あるまちづくりをサポートしていきます!

龍田まちづくりセンター[写真左から] 樋口雄二さん、松崎智樹さん、林万理子さん

龍田まちセンが管轄する6つの校区の一つ、弓削校区。同校区は、古くからの伝統を大切に守り継ぐ地域性に加えて、「健康なまちづくり」を、まちづくりのテーマに掲げて、さまざまな地域活動を繰り広げています。こうした「まち」の特徴がよく表れているのが、年始の恒例行事となっている「どんとや&町内対抗駅伝大会」。今年は1月7日に開催されました。

同時に、校庭に場所を移して行われるようになりました。参加者だけでなく、準備・運営のボランティアも多数。両イベントは「平成」に入ったあたりから同時開催となり、今では校区に新年の幕開けを告げる行事に。今年も子どもから高齢者まで多くの住民が参加しました。10区間・約12kmで争う駅伝大会は、校区内の6つの町内の対抗形式。小学校低学年から40歳以上の大人まで、幅広い世代が1本のたすきをつなぎ、わが町内の勝利を目指して走ります。沿道からも多数の声援が飛び、どの区間も白熱した争い!

の振る舞いも。同校区を担当する龍田まちセンの松崎智樹さんは、「駅伝ではレースの実況が行われるなど、地域を挙げてのイベントに多世代が集います。また、さまざまな行事に参加者だけでなく、準備や運営に携わるボランティアがたくさん集まるのも弓削校区の特徴。自主性、主体性を持った活動が浸透している同校区ならではといえます。」

人と地域と行政をつなぐ 週刊マガジン

まち・ひとつながる

熊本市まちづくりセンター通信 vol.15

熊本市各地域の「まちづくりセンター」の活動報告・イベント情報をお知らせします。



龍田まちづくりセンター(北区)

弓削校区「どんとや&町内対抗駅伝大会」地域の伝統行事とスポーツが融合「健康」をキーワードにまちづくり



手作りぜんざいの振る舞いは、順番待ちの行列ができる盛況ぶり!

わがまち Topics

市内各校区で行われたさまざまなイベントの様子や、これから行われる催しの情報を、まちセンとの関わりなども交えて紹介します。

行事レポート

12/7(木)・15(金) 地域の財産「沈目大蛇」を後世に残すために

【沈目大蛇踊り民話化】

7日は、豊田小学校3年生の授業の一環「ふるさと学習」で、沈目大蛇踊り保存会と沈目自治会の方々が、大蛇の実物を使って、子どもたちに由来などを説明しました。15日は、地域に伝わる文化や言い伝えなどを民話化し紙芝居に仕立て、保存・伝承活動を行っている城南町民話の会も参加し、沈目大蛇踊りの民話化の取り組みについて話し合いが行われました。(問)城南まちづくりセンター ☎0964(28)2260



1/4(木) 「校区」で新成人の門出を応援する手作りの式

【限庄校区・豊田校区成人式】

各校区在住の新成人が自ら運営スタッフとなり、昨年夏から校区の自治会や社協と連携して、企画や案内等の準備を行ってきた手作りの成人式。地域で新成人の晴れの門出を祝いました。(問)城南まちづくりセンター ☎0964(28)2260



1/13(土) 太鼓の演奏が華を添えた新春の伝統行事

【本荘どんとや】

本荘小学校グラウンドで行われた校区のどんとや。「本荘小学校子ども太鼓部」や「代継太鼓」の勇壮な演奏のほか、地域の方々が作ったぜんざいの振る舞いなどもありました。また、防災意識を高めてもらうため、「防災コーナー」も設置されました。(問)中央区まちづくりセンター ☎096(328)2232



西部地域って、こんなところ

謎とロマンにあふれる 伝説の山岳寺院「池邊寺」

西区池上町にある国指定史跡「池邊寺跡」。奈良時代初頭に創建されたといわれる山岳寺院跡で、「味生池(あじうのいけ)」にすむ竜を鎮めるために建てられたという伝説が残っています。発掘調査によって、全国にも類を見ない、斜面に並ぶ100基の石積みなどが見つかり、国史跡に指定されました。古代ロマンあふれる史跡は必見です!



大規模な遺構が残る池邊寺跡。谷の向こうには花岡山や阿蘇の山々も望めます

西部まちづくりセンターです!

熊本市内17カ所のまちづくりセンターを、それぞれのまちセンスタッフ(地域担当職員)が紹介します!

海と陸の玄関口がある「まち」魅力を発掘・発信していきます!

地域担当 益岡 宏規さん



西部まちセンでは、所長を含め6人のスタッフで、城山、高橋、池上、春日、白坪、古町、中島、小島の8校区と松尾北・東・西の3校区を担当しています。開設当初は、地域のイベントなどのお手伝いを中心でしたが、今では会議の段階から企画や広報、補助金の情報提供など、多面的にサポートしています。地域内には熊本駅、熊本港のほか、国指定史跡「池邊寺跡」や、ミカン、ノリなど全国に誇る農産物も豊富です。そうしたストーリーをつなぎ、地域内外の方々に魅力を発信していきたいですね。



まちセン、自治協議会などで主催した「グラウンドゴルフ大会・ニュースポーツ体験会」



お問い合わせ

●熊本市地域政策課 ☎096(328)2031(月~金曜・8:30~17:15)、chiikiseisaku@city.kumamoto.lg.jp ●龍田まちづくりセンター ☎096(339)3323 ●西部まちづくりセンター ☎096(329)7625